

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4- -5

4-
-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	救急医療機関との連携
節	安全対策の徹底		
事業(施策)名	5 警察・医療機関との連絡体制の構築	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H30	関連団体	県文化行政課、佐渡西警察署、佐渡東警察署、佐渡市市民生活課、佐渡市消防本部
事業概要	<p>【事業目的】 警察や医療機関との連携により、来訪者の不慮の事故や疾病への対応を図る。</p> <p>【事業内容】 警察や医療機関との連絡体制の強化により、来訪者の不慮の事故や疾病時の連絡体制の構築を図るとともに、山林部等の不便な場所に所在する構成資産においては、緊急時における連絡先等を明記したサインの設置を検討する。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 市の関係部署において情報共有を図るとともに、山林部等に設置するサインの内容について、サイン計画の中でサイン記載内容等の検討を行う。</p> <p>【29年度実績】 サインデザインの検討を行い、サイン計画へ反映させた。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 構成資産が広範囲にわたるため、効果的な箇所に緊急連絡先等が表示されたサインを設置するとともに、関係機関との連絡体制の構築が必要である。 構成資産内における立入禁止区域の設定と周知(3-21)・緩衝地帯における立入禁止区域の設定と周知(4- -4)との連携が必要である。</p> <p>【今後の取組】 計画的にサインを設置する。 サイン設置に併せ、関係機関にサイン設置箇所の情報を提供するとともに、緊急時の体制構築を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a ● b · c)</p> <p>【事業実施の効果】 (a ● b · c)</p> <p>【総合評価】 (A ● B · C)</p> <p>計画どおりにより事業が進んでいることから、B評価とした。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。